

漁海況月報

No. 10

平成20年10月1日

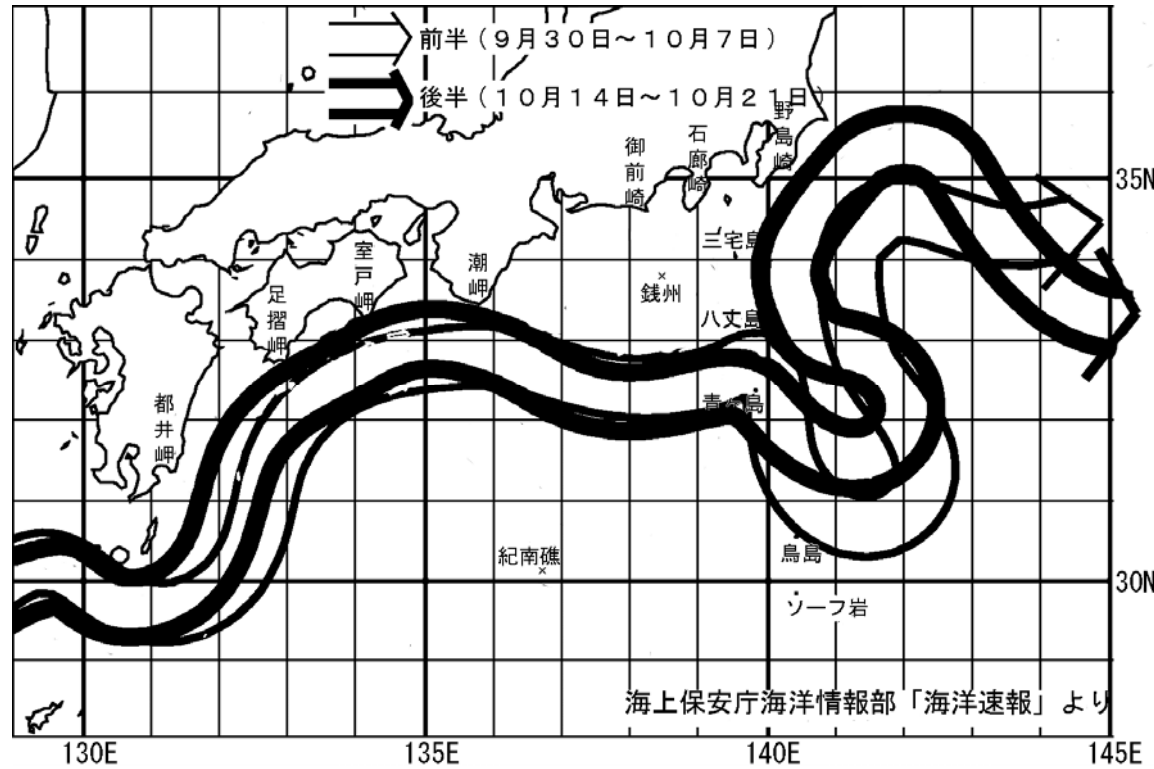
～10月31日

静岡県水産技術研究所

(電話 054-627-1815)

静岡県水産技術研究所 伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



[黒潮流路]

月前半の黒潮は、九州東岸を離岸傾向で流れ、足摺岬から潮岬にかけて接岸した。その後、遠州灘沖 32° 30' N 付近を東進し、八丈島周辺から 31° N 付近まで南下して 142° E 付近から S 字状に北上した。

月後半の黒潮は、九州東岸から潮岬にかけて接岸した。その後、遠州灘沖 32° 30' N 付近を東進し、青ヶ島周辺から南東に流れて 142° E 付近から S 字状に北上し、房総半島に接岸傾向で流れた。

[県下沿岸域]

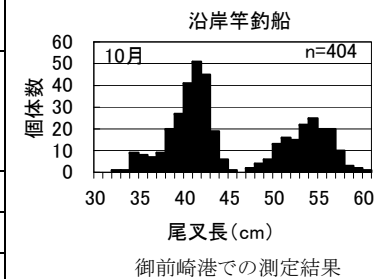
県下の定地水温は、相模湾、駿河湾東部では 20～24℃ 台、駿河湾西部では 19～24℃ 台で経過した。相模湾では中下旬、駿河湾西部では下旬に 24～25℃ 台の暖水が波及した影響でやや高めから高めとなった。月を通じては各地とも平年並みからやや高めで経過した。

[竿釣近海カツオ]

10月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海竿釣船によるカツオの水揚量はなかった。沿岸竿釣船はハロース付近で操業し41トンを水揚げした。10月10日に御前崎で測定したカツオの尾叉長は41cmと54cmにモードがあった。

竿釣近海カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(ト)	水揚隻数	水揚/隻(ト)	平均単価(円/kg)
20年10月上旬	0	0	—	—
20年10月中旬	0	0	—	—
20年10月下旬	0	0	—	—
20年10月計	0	0	—	—
19年10月計	19	7	2.7	447
18年10月計	18	8	2.3	332



定地水温の旬平均値(℃) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	22.9	24.0	23.1	23.5	23.5	23.4	22.3
	0.7	1.0	0.1	-0.1	0.5	0.9	-0.1
中旬	22.3	24.0	23.3	23.0	23.4	23.2	22.1
	0.8	1.6	1.1	0.1	1.0	1.5	0.8
下旬	21.9	23.3	22.7	22.0	22.5	22.7	21.0
	1.3	1.6	1.4	0.0	1.2	1.8	0.9
月	22.3	23.8	23.0	22.8	23.1	23.1	21.8
	0.9	1.4	0.8	0.0	0.9	1.4	0.6

[定置網]

平成20年10月、伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は280トンド、操業がなかった伊豆山、赤石、富戸を除く1漁場当たり水揚量56.0トンは前年120.4トン(7漁場)の47%、平年値(昭和57～平成19年)41.6トンの135%であった。魚種別水揚量は、①マアジ81.1トン(A:前年同月比377%、B:平年同月比257%)②サバ類44.8トン(A:12%、B:54%)③ヤマトカマス36.6トン(A:39%、B:213%)④マルソウダ24.7トン(A:22%、B:59%)⑤イサキ18.0トン(A:41%、B:115%)の順であった。

マアジは古網、川奈、北川を中心に入網し、「小あじ」銘柄の尾叉長のモード17～18cmの当歳魚が漁獲の8割以上を占めていた。サバ類は古網、川奈、北川を中心に入網し、ゴマサバが中心で、尾叉長のモードは31cmであったが、当歳魚と思われる21cmにモードが見られる群もみられた。ヤマトカマスは古網、北川を中心に入網し、尾叉長のモードは25cmにみられた。マルソウダは、古網を中心に入網し、尾叉長のモードは26cmであり、マルソウダ銘柄の中にもモードを30cmに持つヒラソウダが多く混じっていた。イサキは北川、赤沢、古網を中心に入網し、尾叉長のモードは10cmと17cmにみられた。

また、ブリのうち「わらさ」銘柄は14.7トンと第6位であったが、前年の3071%、平年の435%で、

昭和 57 年以降で 2 番目に多く漁獲された。

漁場別水揚量は、古網 117 トン（マアジ、サバ類、ソウダガツオ類、ヤマトカマス中心）、北川 56 トン（マアジ、ヤマトカマス、サバ類中心）、川奈 45 トン（マアジ、サバ類中心）の順であった。

[サバたもすくい棒受網]

小川港には棒受網によってゴマサバ 664 トン（前年同月比 105%）が水揚げされ、1 隻あたり水揚量は 36.9 トン/隻（前年同月比 116%）と好調であった。ゴマサバの平均単価は 48 円/kg で、前年（前年同月 63 円/kg）を下回り、平成 18 年 12 月以降 1 年 9 か月ぶりに 50 円/kg を下回った。

漁場は三宅、三本に形成された。ゴマサバの魚体は、27~28cm モードの 1 歳魚（2007 年級群）と思われる群が主体となり、30cm を超える群の割合は前月より減少した。

小川港 サバ類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量

期 間	水揚量 (トン)	水揚日数	水揚隻数	水揚/隻 (トン)	平均単価 (円/kg)	漁 場
20年10月上旬	257	3	6	42.8	45	三宅
中旬	128	2	4	32.0	53	三本、三宅
下旬	279	4	8	35.0	48	三宅
20年10月計	664	9	18	36.9	48	—
19年10月	633	10	20	31.7	63	三本、三宅
18年10月	323	11	22	14.7	49	銭洲、高瀬、三宅

* 水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[シラス船曳網]

1 日 1 か統当りの漁獲量は、駿河湾では 191kg、遠州灘では 195kg であった。主要 6 港平均では 193kg であり、これは前年同期(271kg)の 71%、平年同期（過去 5 か年平均：288kg）の 67%と前年、平年を下回った。また、総水揚量は 417.9 トンで前年同期(688.1 トン)の 61%、平年同期（705.8 トン）の 59%と前年、平年を下回った。平均単価は 951 円/kg で、平年同期（854 円/kg）を上回った。

シラス水揚量（主要 6 港）

漁 港	水揚量 (トン)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	30.0	16	183	164	918
舞 阪	112.9	14	598	189	883
福 田	91.0	16	431	211	792
御前崎	43.8	18	213	206	1,017
吉 田	68.1	17	419	163	842
静 岡	72.1	15	317	228	1,334
平成20年10月計	417.9		2,161	193	951
平成19年10月計	688.1		2,537	271	771
平成18年10月計	942.9		2,626	359	720

[まき網]

小川港ではマイワシの水揚げは 6.0 トンで平年同期（146.0 トン）の 4%であった。沼津港では、マイワシが 68.0 トンの水揚げで平年同期（235.6 トン）の 29%であった。カタクチイワシの水揚げはなかった（平年同期 1.2 トン）。静岡港ではマイワシは 2.5 トンの水揚げで平年同期（8.8 トン）の 28%であった。カタクチイワシの水揚げはなかった（平年同期 14.1 トン）。伊東港ではマイワシは 9kg の水揚げで平年同期（8.2 トン）の 0.1%であった。注）平年同期：過去 5 か年（2003~2007 年）平均

[調査船の動向]

富 士 丸

10月9日	～	10月9日	ドック廻航（焼津港～藤高造船所）	（1日間）
10月22日	～	10月22日	ドック廻航（藤高造船所～焼津港）	（1日間）
10月31日	～	10月31日	さば祭り（小川港）	（1日間）

駿 河 丸

10月3日	～	10月3日	ドック廻航（清港ドック～小川港）	（1日間）
10月7日	～	10月9日	地先定線観測調査	（3日間）
10月14日	～	10月15日	サクラエビ IKMT 調査	（2日間）
10月16日	～	10月17日	サクラエビ産卵調査・短期海況変動調査	（2日間）
10月20日	～	10月21日	サバ・タチウオ調査	（2日間）
10月22日	～	10月22日	シラス調査（松崎沖～吉田沖）	（1日間）
10月27日	～	10月27日	公共用水域水質調査	（1日間）
10月28日	～	10月28日	シラス調査	（1日間）
10月31日	～	10月31日	サバ調査	（1日間）

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星 NOAA の海面水温分布画像と関東東海海況速報を見ることができます。

